

岡山県の地震

平成30年(2018年)8月

目次

○岡山県及びその周辺の地震活動（8月）	
震央分布図及び断面図	… 1
概況	… 1
○地震防災メモ No.152	
エレベーター内で地震に遭遇したら	… 2

●「岡山県の地震」は月1回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」にて、地震、津波に対する防災等の知識の普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。

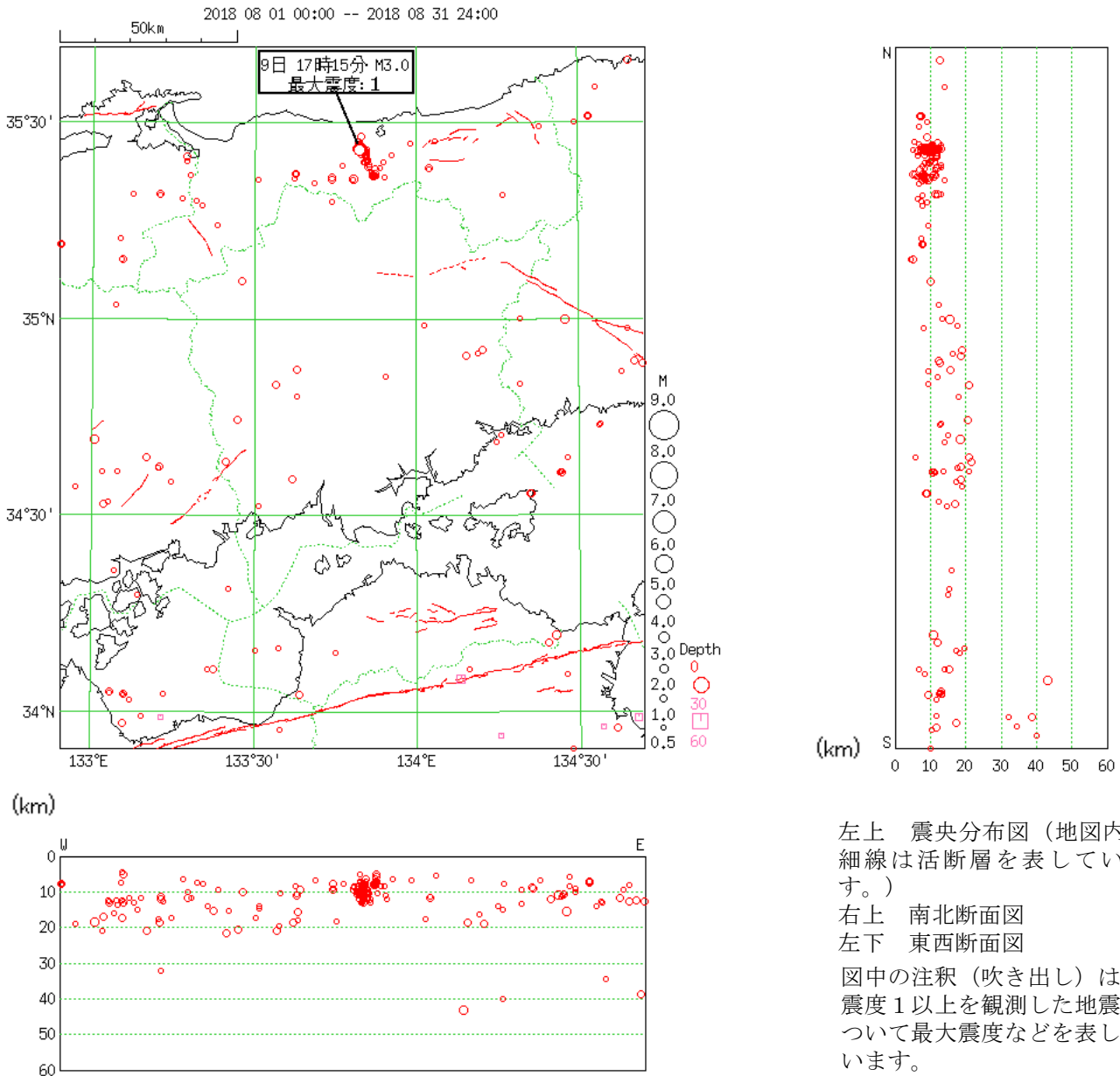
●この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

●本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

岡山地方気象台

岡山県及びその周辺の地震活動(8月)

震央分布図及び断面図



概況

8月の概況

- ・上図の範囲内で8月に震度1以上の揺れが観測された地震は1回(前月3回)でした。
- ・岡山県で8月に震度1以上の揺れが観測された地震は0回(前月1回)、そのうち震央が上図の範囲内での地震は0回、範囲外での地震は0回でした。

エレベーター内で地震に遭遇したら

平成30年6月18日に発生した「大阪府北部の地震（最大震度6弱）」では、エレベーター内の閉じ込め事故が大阪府を中心に339件発生しました（国土交通省調べ）。また、内閣府の中央防災会議の報告によると、最大クラスの南海トラフ巨大地震が発生した場合、住宅、オフィスの被災及び停電により、エレベーター内に最大で約2万3千人が閉じ込められると想定されています。

エレベーターの安全対策については、平成17年7月の「千葉県北西部の地震（最大震度5強）」で発生したエレベーター内の閉じ込め事故等を受け、平成21年以降は、「地震時管制運転装置」の設置が義務付けられています。このため、一定の揺れを感知すると最寄りの階で自動的に停止するようになっていますが、未整備の旧型エレベーターもまだ多く残っています。

エレベーターに乗っているときに、地震に遭遇したらどのような行動をとればよいのでしょうか。

日本エレベーター協会のホームページによると、「“すべての”行先階ボタンを押し、最初に停止した階で降りてください。」と紹介しています。



最初に止まった階で降りて、慌てずに避難してください

緊急地震速報を見聞きしたときや地震の揺れを感じたときに、どのような行動をとるべきか、その時々状況によって変わってきます。日頃からさまざまな場面を想定してシミュレーションしてみてもいいのではないでしょうか。

出典

- ・気象庁
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/koudou/koudou.html#elev>
- ・南海トラフ巨大地震対策について（最終報告）平成25年5月 中央防災会議
http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku_wg/pdf/20130528_houkoku_s2.pdf
- ・一般社団法人 日本エレベーター協会
<http://www.n-elekyo.or.jp/safety/elevator.html>